

	<p><b>お約束</b></p> <p>①勝手にセルを連結しない  ②勝手にシートを削除しない  ③エクセルシートは上書きで  ④全部作ってから添削依頼などしない  必ず少しずつ進めること  ⑤締め切りは絶対厳守、一切伸びません  ⑥他の担当者の原稿にも目を通すこと  ⑦資料の送信は直接添付ではなく  Firestrage <a href="http://firestorage.jp/">http://firestorage.jp/</a>  DropBox <a href="https://www.dropbox.com/">https://www.dropbox.com/</a>  宅ファイル便 <a href="http://www.filesend.to/">http://www.filesend.to/</a>  を 使用してMLに送付して下さい。</p>
	<p style="text-align: center;"><b>注意点</b></p>
	<p style="text-align: center;">簡潔な短い文章にして下さい</p>
	<p style="text-align: center;"><b>最終締め切りは2013年9月23日 23:59 (日本時間) までに提出</b></p>
	<p style="text-align: center;"><b>日本語原稿の完成目標は9月1日</b></p>
<p><b>開催期間:</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>主たる事業の日にちを入れて下さい</b>  複数日の開催の場合はすべて記載するか  何月何日から何月何日までとして下さい。  Duration(開催期間)は  <u>半角英数40文字まで(翻訳時)</u>  <u>改行は出来ない。</u>  <u>事業の一部でも規定開催期間に入っている</u>  <u>事</u></p>
<p><b>スタッフ:</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>青年会議所メンバーで かつ事業の主体者のみです。</b></p> <p style="text-align: center;">委員会メンバーが通常これにあたります。  *書き込むスペースが無いので、  <b>数字とmembers とだけを記載して下さい。</b>  Staff(スタッフ数):  <u>半角英数10文字まで</u>  <u>改行は出来ない。</u></p>

<p><b>支援者:</b></p>	<p>青年会議所以外の人のこと。 外部ボランティアや後援団体や協賛企業など 日本人以外にも解るような表現にして下さい</p> <p>正確な英語の表記を必ず確認し記載すること。 * 相手方のHPや名刺などで確認して下さい。 Sponsors(支援者):</p> <p><b>半角英数100文字まで 改行は出来ない。</b></p>
<p><b>予算:</b></p>	<p>事業本体にかかった最終的な予算を 米ドルで1ドル100円換算で表記して下さい。</p> <p><b>Budget(予算): 半角英数20文字まで 改行は出来ない。</b></p>
<p><b>利益／損失:</b></p>	<p>基金を集めること以外は 必ず、ゼロにして下さい。 <b>英語ではNONEです。</b></p>
<p><b>誰の為に?</b></p>	<p>事業の本質的な対象者を書いて下さい。 あまり小さく考えすぎて狭過ぎないこともポイントです。</p> <p>例1) ●◎に住み暮らす人々▽×人。 例2) 大阪に住み暮らす人々260万人、 とくに小さな子供を持つ夫婦と子供。 例3) ○▼青年会議所に20@@@年度入会した 新しいメンバー○■人。</p> <p>Who is benefited?(誰のために?): <b>255文字まで、改行は出来ない。</b></p>
<p><b>目的:</b></p>	<p><b>簡潔に、何かとつながるのか?</b> まず最初の一行で簡潔に目的を言い切ること 長文厳禁、箇条書きがポイント 全てのJCのプログラムの最終目標は 世界平和(明るい豊かな社会) では、そこに至る中目標と小目標は この事業の場合どこにあるでしょう? 主語は明確に、言い切る、 『して戴く』は使用禁止 <b>クリード、ミッション、ビジョンの 価値感の実践がJCの事業の目的です</b></p>
<p>3行程度 400字以内</p>	<p>Objective(目的): <b>2000文字以上が可能 改行は出来る 各種制御文字は可能。</b></p>

<p><b>概要:</b></p>	<p>小学生でも事業内容・運動が理解できるように、 簡単な単語のみで 事業の大まかな説明をして下さい。 (悪い例) 〇〇のイベントを行い〇〇人の参加者が得られた。 (良い例) 〇〇な考え方を市民に理解し、実際に行動するための 機会を与えるために、〇〇なイベントを計画実施した。 結果、〇〇人の参加を得え、 PositiveChangeの機会を与えた。 その後〇〇な行動を起こす市民を誕生させることに成 功。</p>
<p>全部で400字以上</p>	<p>イベントではなく JCの考えを実践するための事業を 事前・事業・事業後の三段階を 意識して簡潔に記載して下さい。</p>
	<p>参加者に何々して戴きました。 参加者に感じて戴きました。は 最悪の記載です。 参加した結果、どう変わったのか？ その結果どんなことが実際に起きたのか？ これが結果です。 JCのオナニーに付き合わせたことは結果ではありません。</p>
<p><b>結果:</b></p>	<p><b>必ず目的と適合していることを 確認して下さい。</b> 客観的に、検証可能なデータの羅列で、 決して、主観で書かないこと。 目的がクリアであれば、結果もクリアに出るはずで す。ダラダラ書かない、結果を一番先に書く、説明は後で 箇条書きで簡潔に書く、主語と対象は必ず明確に</p>

	<p>なぜ、その結果が解るのか？  方法と分析の仕方を書いて下さい。  <b>何人集まりました。は、サイターの記載です、</b>  キチンとした評価が必要です、  決して作成者個人の感想文や  妄想であってはなりません。  やっつけ仕事禁止です。</p>
	<p>『醸成した』『一助となった』『思われる』等が一番のNG  ワードです。  検証可能な記載を心掛け、決して主観ではなく  明らかな客観で記載して下さい。</p>
	<p>どんな問題点が、どの程度、どついつた風に改善された  のか？  どういった結果が得られ、それは事業前に想定していた  ものと  同じなのか？うまくいったのか？いかなかったのか？</p> <p><b>理路整然と簡潔に結果のみ</b>を記載して下さい。  感想文になっている場合があります。  また、<b>検証不可能な個人の妄想を記載しないこと。</b></p> <p>うまくいかなければ、うまくいかない理由を  予想以上の好結果であればその理由も考察して下さい。</p>
<p><b>行動：</b></p>	<p>大まかに、事業の調査、立案、会議の流れ、  実施活動、事業後の活動について  書いて下さい。  日付も入れて下さい。  日本人以外の方が、LOMメンバー以外の方が  解るような記載を心がけて下さい。  日本人以外、LOMメンバー以外の人でも  知っている単語や人名、組織名で構成して下さい。</p>

<p>全部で200字以上 2000字以内程度</p>	<p>行動の詳細は別の場所に 書くところがあるので、 そちらに書いてください。 およそ2000字以内でお願いします。 詳細は個別記載に書いてください。</p>
<p><b>考察や推奨</b></p>	<p>事業の結果から得られたことを元に 事業後の考察の結果を書いて下さい。 ここが一番大事です。 Recommendations(考察・推奨): 2000文字以上が可能 改行は出来る 各種制御文字は可能。 全体で20行程度にまとめそれ以外は 個別のクライテリアに書いてください。</p>
	<p>『醸成した』『一助となった』『思われる』等は 一番のNGワードです。使用不可です。 検証可能な記載を心掛け、決して主観ではなく 明らかな客観で記載して下さい。 主観的な妄想や感想文になりがちです。 客観で書けない場合はこれまでの記載が根本的に おかしいので、最初のセルに戻ってアドバイスに従い 記載内容を確認しましょう。</p>
	<p>想定よりも上手くいった部分を記載して下さい。 その要因、工夫などを記載して下さい。</p>
	<p>想定外の結果が得られたのであれば その理由を分析して記載して下さい。  うまくいったのであれば、その理由を うまくいかない部分があれば、改善策を しっかり記載して下さい。</p>
	<p>振り返って考える この事業の一番の特色とポイント 次年度以降のメンバーに 是非伝えたいことは？</p>
<p>全部で200字以上</p>	<p>対内での評価はありませんか？ 国内、ブロック、地区などの褒賞はとってませんか？ あれば、書いて下さい、無ければなくてもOKです。</p>

	<p>対外、とくに事業に関係した 団体等からの評価を書いて下さい。 * 手元がない場合は、相手方をお願いして 文書やコメントを入手して下さい。</p>
	<p>地域などの報道機関での扱いを書いて下さい。 新聞に載った、テレビの取材が来た等 そのバリューの大きさが間接的に 地域社会からの反響を表し、評価に繋げることが出来 ます。</p>

**BASIC INFOMATION** の一部に文字制限や改行出が来ない入力項目が  
任意の英数文字列を入力して表示結果をテストした結果、下記のように

**Duration(開催期間):** 40文字まで 改行は出来ない。

**Staff(スタッフ数):** 10文字まで 改行は出来ない。

**Sponsors(支援者):** 100文字まで 改行は出来ない。

**Budget(予算):** 20文字まで 改行は出来ない。

**Profit / Loss (利益・損失):** 20文字まで 改行は出来ない。

**Who is benefited?(誰のために?):** 255文字まで 改行は出来ない。

**Objective(目的):** 2000文字以上が可能 改行は出来る 各種制御

**Results (結果):** 2000文字以上が可能 改行は出来る 各種

**Actions Taken (行動):** 2000文字以上が可能 改行は出来る

**Recommendations(考察・推薦):** 2000文字以上が可能 改行は出来る

改行以外の制御文字につきましては、簡単な調査をした段階では問題  
但し、制御文字数も文字数としてカウントされるので、文字数が20













2008-2012 JCIアワードセミナー講師

## 基本注意点

- ①直接エクセルに書かない、ワードパッド、もしくはメモ帳で書いてからコピーすること。文章校正はこの段階では不要ですので、行わないで下さい。
- ②思う、思われる、寄与する、一助となる、などの推定もしくは主観の文章はNGです。である、～だ。客観的で言い切りの文章でないとダメです。
- ③主語をからなずつけて下さい。我々、もしくは我々委員会は、我々何々青年会議所は、と、して下さい。
- ④セルの連結等の改編はしないで下さい。書ききれない場合はセルを増やして対応して下さい。

**Dの縦のセル列に日本語の原稿の記載をお願いします。  
灰色のアドバイスを消して記載して下さい。**

**改行したい場合は 左下のAltを押しながら右側のEnterで改行出来ます。**

**ファイルの名称は「JCIOO 何々賞2013,00,00 」として下さい。**

**添削してOKは緑色になります。英訳してF列に記載して下さい。**

2013.1.1～2013.12.31

**一回目の送付の際は文字は黒で 2回目以降は修正部分を赤字にしてください**

201名

**簡潔な短い文章にして下さい。やっつけ仕事禁止**

金沢市民46万人と行政や企業

簡潔な短い文章にして下さい。やっつけ仕事禁止

NONE

簡潔な短い文章にして下さい。やっつけ仕事禁止

NONE

簡潔な短い文章にして下さい。やっつけ仕事禁止

金沢市民46万人

主語を忘れないように「我々 JCI〇〇は、」「我々委員会は、」です。

目的と結果がキチンと繋がるように書いてみましょう。

- 1、JCI金沢メンバーに、JCIに関わる機会を増やすこと。
- 2、メンバーにポジティブチェンジを与え積極的に行動させること。
- 3、金沢のまちに、アクティブシチズンを増やすこと。
- 4、JCI金沢の、認知度を向上させること。

必ず結果と合致出来るはずです。  
キチンと考えましょう。

## 簡潔な短い文章にして下さい。やっつけ仕事禁止

### 【メンバーの資質向上】

- 1、彼は、メンバーに正しくJCIの運動を伝えた。
- 2、彼は、2015年JCI世界会議誘致に向け、強いリーダーシップを発揮した。
- 3、彼の強いリーダーシップにより、多くのメンバーがJCI事業に参加した。
- 4、JCI事業に参加したメンバーは、能動的に行動しJCI運動を推進した。

### 【アクティブシチズンの増加】

- 1、彼は、市民に対して正しくJCIの運動を伝えた。
- 2、彼の強いリーダーシップにより、行政や多くの企業が運動の趣旨に賛同した。
- 3、彼は、JCIの運動を発信することで、多くの市民の参加を推進した。
- 4、市民は、事業に参加することで社会的貢献意識を高める機会を得た。

### 【JCI金沢の認知度向上】

- 1、彼は、市民に対して正しくJCIの運動を伝播する機会を多く作った。
- 2、彼は、新しいメンバーを多く獲得することでLOMの認知度向上を図った。

イベントの説明ではなく、  
事業としての全体像を大まかで表現して下さい  
解り易いストーリーを  
箇条書きで書いて下さい。

**主語を忘れないこと、単語は7つ以下で1文とすること**

**結果をキチンと確認しないとココは書けません。  
解らない場合はすぐに関係者、参加者にヒアリング・アンケートをとり  
関係者からのプラスとマイナスの評価を入手して下さい。**

- 1、彼が率先してJCIのすべての事業に参加することで、多くのメンバーがJCIの事業に参加した。
- 2、JCI金沢メンバーは、地域のリーダーとして19の事業を行った。
- 3、金沢市民は、19の事業に参画し、アクティブシチズンが増加した。
- 4、JCI金沢は、事業を通し認知度が向上し、43名の新しいメンバーが増加した。  
(金沢メンバーのJCI事業への参加人数)  
2013年1月9日～13日 JBM 参加者15名  
5月1日～4日 アメリカエリア会議 登録者12名 参加者12名  
5月8日～11日 アフリカエリア会議 登録者12名 参加者12名  
5月29日～6月1日 ヨーロッパエリア会議 登録者11名 参加者11名  
6月13日～16日 アジア太平洋エリア会議 登録者146名 参加者85名  
7月22日～23日 MYE 参加者12名  
7月24日～26日 GPS 登録者29名 参加者13名  
11月4日～9日 世界会議 登録者206名 参加者58名(シニアメンバー含む)  
JCI金沢メンバー グランドスラム達成者 4名
- 5、ポジティブチェンジをしたメンバーは、2014年JCI、JCI日本などに65名出向した。
- 6、JCI金沢メンバーの、献身的な努力により2015JCI世界会議の誘致権を獲得した。

想定外の結果に関してを  
書いて下さい

結果の確認方法を書いて下さい

主語を忘れないこと、単語は7つ以下で1文とすること

2013年度JCI金沢理事長 藤弥昌宏はすべてのJCI事業に参加した。  
2013年1月7日～13日 JBM JCI金沢主催のVIPディナー開催  
5月1日～4日 アメリカエリア会議  
5月8日～11日 アフリカエリア会議  
5月29日～6月1日 ヨーロッパエリア会議  
6月13日～16日 アジア太平洋エリア会議  
7月22日～23日 MYE 理事会にて世界会議誘致PR  
7月24日～26日 GPS  
11月4日～9日 世界会議 JCI金沢主催のVIPランチョン開催  
総会にて2015JCI世界会議誘致のスピーチ  
2015JCI世界会議誘致権を獲得した

2013年度JCI金沢理事長 藤弥昌宏はJCIに貢献している  
JCIファウンデーションに、2,000ドル寄付した  
ナッシングバットネットに1,000ドル寄付した  
彼は、グランドスラムを達成した。



読めば委員会の事業前から  
事業後までの動きが  
だいたい、大まかに解るようにして下さい。

目的のうち、どの部分が達成されたのか？  
達成出来なかった部分は何か？  
それは何故か？  
その改善策は？

LOMメンバー以外からの意見が重要、  
特に事業の改善点や事業の良くなかった部分を  
キチンとヒアリング・アンケート調査して下さい。

次年度以降の事業関係者に有益な工夫やアプローチの  
いい部分、良かった点、その原因などを  
ヒアリング・アンケートを取って記載して下さい。

2015JCI世界会議誘致決定の記事が地元新聞に掲載された(310,000部発行)  
JCI金沢理事長として、強いリーダーシップが認められ地元民放で特集番組が放映された(700,000世帯視聴)

ありましたので最終結果をお知らせします。

な制限が設けられています。

い。

文字は可能。

制御文字は可能。

各種制御文字は可能。

る 各種制御文字は可能。

がありませんでした。

文字以下の項目については文字装飾をしないほうが賢明と思われま















英語

**Scrapbook Details**

Duration

Staff

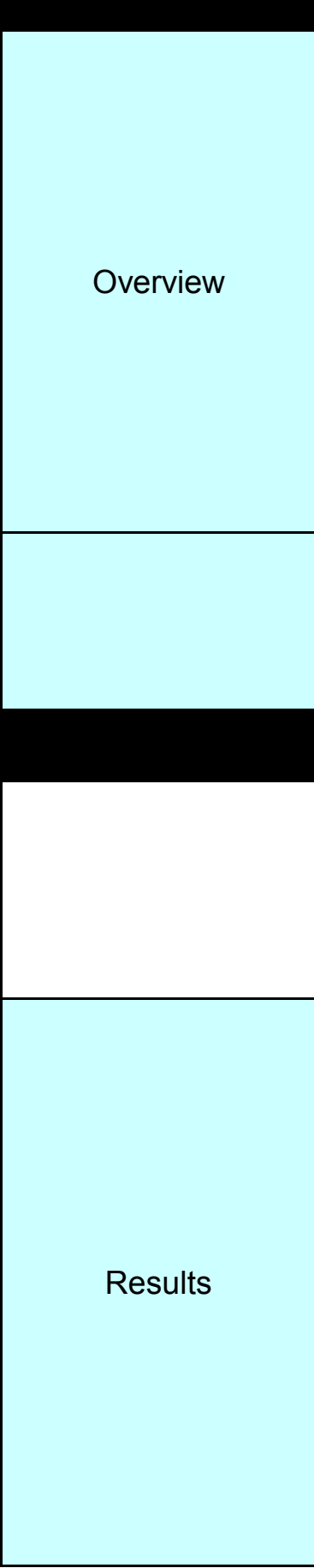
Sponsors

Budget:

Profit / Loss

Who is benefited ?

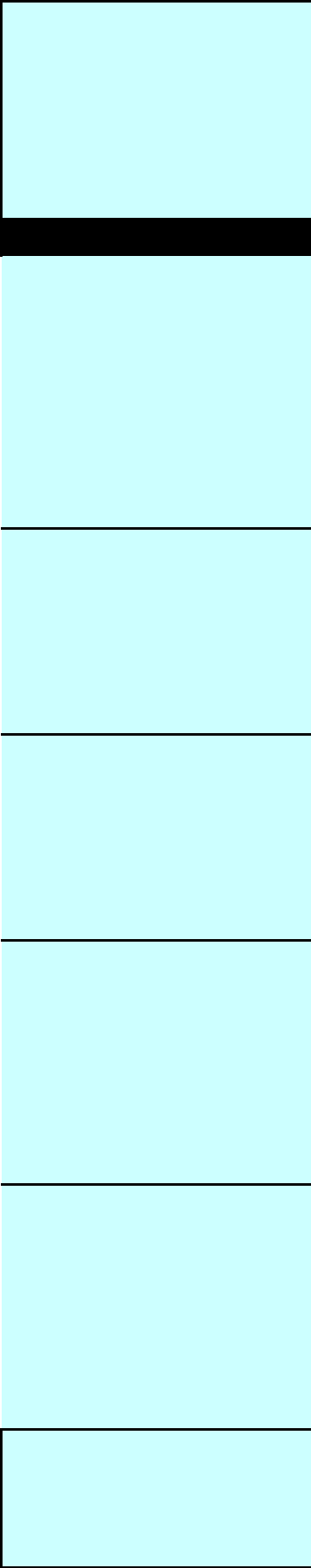
Objective



Overview

Results





Recommendations















Jan. 1st 2013 - Dec. 31st 2013
201 members

Kanazawa City's 460,000 citizens, government and corporations

None

None

Kanazawa City's 460,000 citizens

**President Masahiro Fujiya's objectives are:**

- 1. To increase opportunities for members of JCI Kanazawa to engage in JCI.**
- 2. To make members of JCI Kanazawa create positive change and work actively.**
- 3. To increase the number of active citizens in Kanazawa City.**
- 4. To build recognition of JCI Kanazawa.**

↑赤字と太字で記載してください

### Improvement of members' quality

1. President Masahiro Fujiya correctly informed members of JCI movement.
2. President Masahiro Fujiya took strong leadership in attracting 2015 JCI World Congress.
3. Many members participated in JCI projects thanks to his strong leadership.
4. Those members who participated in JCI projects acted positively and promoted JCI movement.

### Increase in the number of active citizens

1. President Masahiro Fujiya correctly informed citizens of JCI movement.
2. Government and many corporations agreed to the content of JCI movement thanks to his strong leadership.
3. President Masahiro Fujiya promoted many citizens' participation by informing them of the movement.
4. Citizens had an opportunity to develop an awareness of social contribution by participating in JCI projects.

### Building recognition of JCI Kanazawa

1. President Masahiro Fujiya created opportunity to correctly pass on JCI movement to citizens.
2. President Masahiro Fujiya built recognition of Local Organization Member by bringing in many new

151

1. His lead in participating in **all of the JCI's projects** led to many participants from members.
  2. Members of JCI Kanazawa conducted **19 projects** as leaders of the community.
  3. Citizens of Kanazawa participated in 19 projects and we had more **active citizens**.
  4. JCI Kanazawa's recognition was built through its projects and **we brought in 43 new members**.
- <The number of JCI Kanazawa members who participated in JCI projects>

JBM (Jan. 9th - 13th 2013) Participants: 15

Conference of the Americas (May 1st - 4th 2013) Registrations: 12 / Participants: 12

Africa and Middle East Conference (May 8th - 11th 2013) Registrations: 12 / Participants: 12

European Conference (May 29th - Jun. 1st 2013) Registrations: 11 / Participants: 11

Asia-Pacific Conference (Jun. 13 - 16 2013) Registrations: 146 / Participants: 85

MYE (Jul. 22nd - 23rd 2013) Participants: 12

GPS (Jul. 24th - 26th 2013) Registrations: 29 / Participants: 13

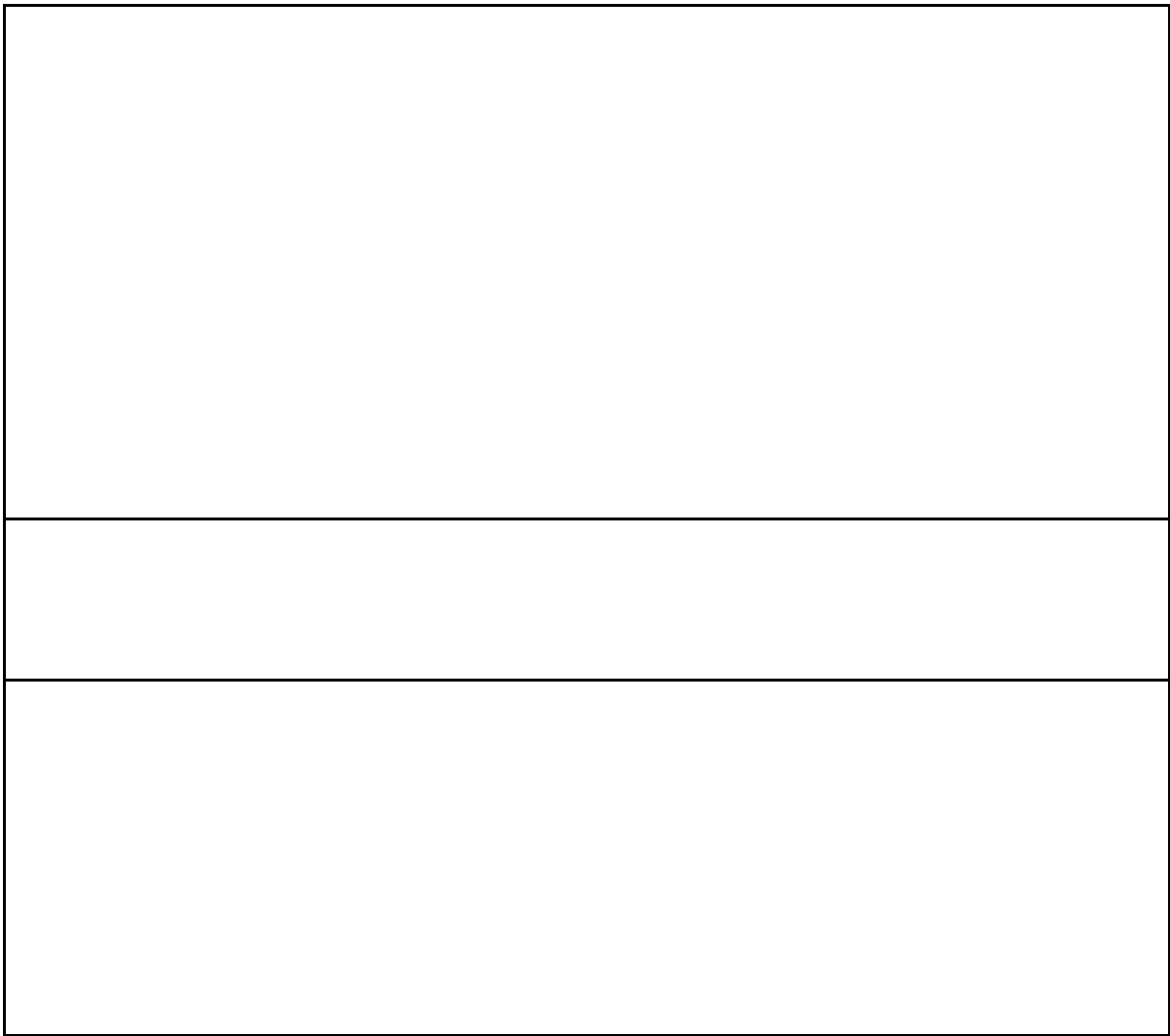
World Congress (Nov. 4th - 9th) Registrations: 206 / Participants: 58 (including senior members)

JCI Kanazawa members who completed the **Grand Slam: 4**

5. 65 members among those who created positive change were assigned to JCI or JCI Japan in 2014.

6. **JCI Kanazawa succeeded in attracting 2015 JCI World Congress thanks to the members' dedicated effort.**

209



2013 JCI Kanazawa President Masahiro Fujiya participated in all of the JCI Events.  
JBM (Jan. 7th - 13th 2013) President Masahiro Fujiya held VIP Dinner hosted by JCI Kanazawa.  
Conference of the Americas (May 1st - 4th 2013)  
Africa and Middle East Conference (May 8th - 11th 2013)  
European Conference (May 29th - Jun. 1st 2013)  
Asia-Pacific Conference (Jun. 13 - 16 2013)  
MYE (Jul. 22nd - 23rd 2013) President Masahiro Fujiya promoted the bid for World Congress.  
GPS (Jul. 24th - 26th 2013)  
World Congress (Nov. 4th - 9th) President Masahiro Fujiya held VIP Luncheon hosted by JCI Kanazawa. He made a speech to attract 2015 JCI World Congress in General Assembly and made a successful bid to host it.

**2013 JCI Kanazawa President Masahiro Fujiya contributes to JCI.**

He donated \$2,000 to JCI Foundation.  
He donated \$1,000 to JCI Nothing But Nets.  
He completed the Grand Slam.




President Masahiro Fujiya was commended by JCI Japan President Obata for his Local Organization's highest participation rate in JCI projects in JCI Japan.

The article that JCI Kanazawa made a successful bid to host 2015 JCI World Congress was published in a local newspaper (circulation of 310,000).  
President Masahiro Fujiya was featured in special program broadcast on local television owing to his strong leadership as JCI Kanazawa President (700,000 household viewership).

## Most Outstanding Local President

締め切りは2012年10月1日  
23:59 (日本時間) までに提出

page3 原文	日本語訳	使用制限 英単語数
<b>Leadership, Motivation, Inspiration of Members</b>	メンバーへの、指揮、動機づけ、インスピレーション	
Please give an example of how this Local President acted as a leader	このLOM理事長がどのようにリーダーの役をしたかという例をいくつか挙げてください	200
Please give an example of how this Local President motivated and inspired members	このLOM理事長がどのようにメンバーに動機づけして、奮起させたかといういくつか例を挙げてください	200

画像データ四つ必要

page4 <b>Community Impact</b>	地域社会への影響	
What work has this person done in the community?	地域社会でどのような行動・貢献を行いましたか？	200

How has this work benefited the community?	この行動・貢献はどんな利益を地域社会へ与えましたか？	200
--	----------------------------	-----

画像データ四つ必要

page5

Impact on Local Organization	LOMへの影響	
What responsibilities did this person take on as a JCI member?	この人は、JCIメンバーとしてどんな責任を引き受けましたか？(理事長になる前の過去の役職と内容を列挙して下さい)	200
How did this member's contributions benefit their Local Organization?	どのように、このメンバーの貢献は、LOMのためになりましたか？(LOMの利益、知名度認知度の向上、財政改善、メンバー数向上、メンバーの資質向上、協力他団体数・質の向上です)	200
画像データ四つ必要		

page6

Participation in JCI Events	JCIの事業への参加	
-----------------------------	------------	--

Describe the member's participation in events and projects of their own Local Organization	事業へのLOMメンバーの参加率と、彼自身のLOM事業を記述してください	200
Describe the member's participation in events and projects of other Local Organizations, the National Organization and Internationally.	各種事業へのLOMメンバーの参加と他のLOM、NOMとJCIの事業への参加を記述してください。	200
画像データ四つ必要		

page 7

<b>Exemplification of JCI Values in Personal Life</b>	私生活における JCI Values の実践	
How does this member exemplify the JCI Values in his or her personal life?	どのように、このメンバーは、彼または彼女の私生活でJCI Valuesを実行しましたか？	200

Which JCI Value does this member exemplify most in his or her personal life?	このメンバーは、彼または彼女の私生活でどのJCI Valueを最も実践しましたか？	150
画像データ四つ必要		

page8

<b>Exemplification of JCI Values in JCI Activities</b>	JCI活動における JCI Valuesの実践	
How does this member exemplify the JCI Values in JCI activities?	どのように、このメンバーは、彼または彼女のJCI活動でJCI Valuesを実行しましたか？	200
Which JCI Value does this member exemplify most in his or her JCI activities?	このメンバーは、彼または彼女のJCI活動でどのJCI Valueを最も実践しましたか？	150
画像データ四つ必要		

改行したい場合は 左下のAltを押しながら右側のEnterで改行出来ます。

日本語原稿

理事長 藤弥昌宏は

- 1、自らが率先して4つのエリア会議、JBM、MYE、GPS、世界会議に参加した。
- 2、2015JCI世界会議誘致権を獲得した。
- 3、メンバーにJCIと積極的に関わる機会を提供し、成長の機会を与えた。
- 4、自ら先頭に立ち、新しいメンバー獲得に行動した。

理事長 藤弥昌宏は

JCI金沢メンバーにJCIと関わる機会を提供し、積極的なメンバーを増加させた。

- ・4つのエリア会議、JBM、MYE、GPS、世界会議への参加
- ・JCI金沢主催のVIPディナー(JBM)、VIPランチョン(世界会議)の開催
- ・ASPAC、世界会議でのジャパンナイトブース出展
- ・JCIアカデミー(福山)へ2名のメンバーが参加し、卒業した。
- ・新しいメンバーを43名増加させた。
- ・ポジティブチェンジしたLOMメンバーの、事業への参加率が向上した。

彼は、地域社会に対して19の事業を行った。

彼は、地域に正しくJCIの運動を伝播した。

JCI金沢の19の事業は、行政や5つの民間企業、8つのNPO団体から協力を得ることができた。

特に、企業のCSR活動を推進する事業では多くの協力を得ることができた。

企業や市民は、JCIの運動を理解し賛同し、我々と行動した。

企業や市民は、社会的貢献意識が高まりアクティブシチズンが増加した。

JCIの運動を正しく伝播することは、JCIの認知度向上につながる。  
JCI金沢は、我々の事業を地域に伝播した。  
JCI金沢の事業を理解し賛同した市民が増えた。  
地域にアクティブシチズンが増加することは、地域への貢献である。  
地域は、持続発展可能な社会になる。

2003年 2月入会 7月例会委員会 委員  
2004年 地域の未来ビジョン作成 委員  
JCI日本出向 広報委員会 委員  
2005年 広域連携委員会 副委員長  
2006年 会員拡大委員会 委員  
2007年 会員拡大委員会 副委員長  
2008年 次世代教育委員会 委員長  
2009年 広域連携委員会 委員  
JCI日本出向 ASPAC支援 委員  
2010年 人材資質向上室 室長  
2011年 専務理事  
2012年 出向役員  
JCI日本出向 相互理解確立委員会 委員長  
2013年 理事長

JCIセネター番号 71847

彼は、強いリーダーシップを発揮し、19事業を成功させた。  
彼は、JC事業を通じてメンバーの責任感と行動力を向上させた。  
彼は、メンバーの事業への参加意欲を高めた。  
彼は、強いリーダーシップを発揮し、43名の新しいメンバーを増やした。  
彼は、10の委員会を運営することで、17名のリーダーを育成した。



- ・新年レセプション 146名参加(86%)
- ・企業のCSR活動促進事業 65名参加(35%)
- ・地域経済活性化事業 138名参加(74%)
- ・青少年資質向上事業 48名参加(26%)
- ・地域の未来ビジョン発表事業 143名(76%)
- ・地域の諸問題を考える市民向けフォーラム146名(78%)
- ・ジャパンナイトブース出展(ASPAC in 光州)85名(45%)
- ・ジャパンナイトブース出展(世界会議 In リオデジャネイロ)58名(31%)

(例会参加率)

1月(85%)、2月(92%)、3月(95%)、4月(88%)  
 5月(100%)、6月(87%)、7月(93%)、8月(85%)  
 9月(87%)、10月(83%)、11月(86%)、12月(89%)

JCI日本への彼とLOMメンバーの参加人数

1月17日～20日 JCI日本新年会議 参加127人  
 7月7日～12日 JCIアカデミー 参加者2人輩出  
 7月20日～23日 JCI日本夏季会議 参加129人  
 10月3日～6日 JCI日本全国大会 参加146人

JCI事業への彼とLOMメンバーの参加人数

1月7日～13日 JBM 参加15人  
 5月1日～4日 アメリカエリア会議 参加12人  
 5月8日～11日 アフリカエリア会議 参加12人  
 5月29日～6月1日 ヨーロッパエリア会議 参加11人  
 6月13日～16日 アジア太平洋エリア会議 参加85人  
 7月22日～23日 MYE 参加12人  
 7月24日～26日 GPS 参加13人  
 11月4日～9日 世界会議 参加58人  
 彼とメンバー4名がグランドスラムを達成

彼は、自分の利益よりも他人の利益のために常に行動している。  
 経営者として、地域貢献を目的とした人材開発プログラムを取り入れている。

社員は、企業の利益だけでなく地域のために行動している。  
 彼は、JCIだけでなく行政やNPO団体の活動にも貢献している。

- ・石川県環境を守る会 理事
- ・石川県教育振興会 理事
- ・石川県障害者スポーツ推進委員会 理事
- ・金沢市青少年育成協議会 理事
- ・金沢市観光振興協議会 理事

彼は「人類への奉仕が人生最善の仕事である」ことを常に実践している。  
彼の行動は、家族や社員の意識を変えた。  
彼の一番身近に、アクティブシズンが増加した。  
彼の家族や社員も、彼と共に地域貢献活動に参加している。  
また、JCI以外の多くの団体でも講演し、他人のために行動する素晴らしさを伝えている。

彼は、LOMメンバーがJCIの運動を理解し行動することが大切であると考えている。  
彼は、LOMメンバーの資質向上は、地域の発展に貢献すると考えている。  
彼は、自らJCIの全ての事業に、多くのLOMメンバーと共に参加した。  
彼は、LOMメンバーにJCI事業に関わる機会を与えた。  
LOMメンバーは、JCIの運動を理解しポジティブチェンジした。  
ポジティブチェンジをしたメンバーは、地域のために事業を行った。

彼は、「人間の個性はこの世の至宝である」ことを実践しました。  
彼は、人は人との出会いによって大きく成長すると考えている。  
彼は、多くの人と会い、JCIの運動を伝播した。  
彼の行動によって、LOMメンバーもJCIの運動を伝播した。  
JCI金沢は、JCIやJCI金沢の認知度向上により43名の新しいメンバーを獲得した。

英語

President Masahiro Fujiya

1. Took the lead in participating in 4 area conferences, JBM, MYE, GPS and World Congress and he himself joined all of them.
2. Made a successful bid to host 2015 JCI World Congress.
3. Offered JCI Kanazawa members opportunities to get positively involved in JCI and to improve themselves.
4. Played a leading role in acting to bring in new members.

65

President Masahiro Fujiya offered JCI Kanazawa members opportunities to get positively involved in JCI and had more active members.

1. Participation in 4 area conferences, JBM, MYE, GPS and World Congress
2. VIP Dinner in JBM and VIP Luncheon in World Congress, both of which were hosted by JCI Kanazawa
3. Japan Night booth in ASPAC and World Congress
4. 2 members joined JCI Academy in Fukuyama and completed it.
5. 43 new members
6. More Local Organization Members who created positive change participated in the projects.

86

President Masahiro Fujiya conducted 19 projects for the local community.

President Masahiro Fujiya correctly informed the community of JCI movement. Government, 5 corporations and 8 NPOs agreed to cooperate in 19 projects of JCI Kanazawa. Especially in projects to promote corporate CSR, President Masahiro Fujiya gained a lot of cooperation. Corporations and citizens understood and agreed to JCI movement, and they acted with us. Corporations and citizens developed an awareness of social contribution, which led to more active citizens.

78

To correctly pass on JCI movement leads to building JCI's recognition.  
JCI Kanazawa informed the local community of JCI Kanazawa's projects.  
More citizens understood and agreed to JCI Kanazawa's projects.  
Increase in the number of active citizens in the local community means contribution to the community.  
The local community becomes a sustainable society.

53

2003 Joined to the JCI Kanazawa, Regular Meeting Commission  
2004 Community Future Vision Commission  
JCI Japan Public Relation Commission  
2005 Vice Chairman Regional Collaboration Commission  
2006 Membership Commission  
2007 Vice Chairman Membership Commission  
2008 Chairman Next Generation's Education Commission  
2009 Regional Collaboration Commission, JCI Japan ASPAC Support Commission  
2010 Vice President  
2011 Secretary General  
2012 Executive Vice President  
JCI Japan Chairman Mutual Understanding Establishment Commission  
2013 President

**JCI Senator No. 71847**

President Masahiro Fujiya took strong leadership in succeeding in 19 projects.  
President Masahiro Fujiya improved members' sense of responsibility and activity through JCI projects.  
President Masahiro Fujiya inspired members' commitment to the projects.  
**President Masahiro Fujiya provided strong leadership, which led to 43 new members.**  
President Masahiro Fujiya conducted 10 committees and developed 17 leaders.

55

<p>New Year's Reception – 146 members attended (86%)  Corporate CRS Promotion Project – 138 members attended (35%)  Local Economy Revitalization Project – 138 members attended (74%)  Developing Youth Quality Project – 48 members attended (26%)  Community Future Vision Project – 143 members attended (76%)  Citizens Forum to Think about Problems in Community – 146 members attended (78%)  Japan Night Booth (ASPAC in Gwangju) – 85 members attended (45%)  Japan Night Booth (World Congress in Rio de Janeiro) – 58 members attended (31%)</p> <p>Participation rate of Regular Meeting  Jan.(85%), Feb.(92%), Mar.(95%), Apr.(88%), May(100%), Jun.(87%), Jul.(93%), Aug.(85%),  Sep.(87%), Oct.(83%), Nov.(86%), Dec.(89%)</p>	99
<p>Number of participants who attended JCI Japan projects from JCI Kanazawa  JCI Japan New Year's Conference (Jan. 17th –20th 2013) Participants: 127  JCI Academy (Jul.7th – 12th 2013) Participants: 2  JCI Japan Summer Conference (Jul. 20th – 23rd 2013) Participants: 129  JCI Japan National Conference (Oct.3rd – 6th 2013) Participants: 146</p> <p>Number of participants who attended JCI projects from JCI Kanazawa  JBM (Jan. 7th – 13th 2013) Participants: 15  Conference of the Americas (May 1st – 4th 2013) Participants: 12  Africa and Middle East Conference (May 8th – 11th 2013) Participants: 12  European Conference (May 29th – Jun. 1st 2013) Participants: 11  Asia-Pacific Conference (Jun. 13 – 16 2013) Participants: 85  MYE (Jul. 22nd – 23rd 2013) Participants: 12  GPS (Jul. 24th – 26th 2013) Participants: 13  World Congress (Nov. 4th – 9th) Participants: 58  4 JCI Kanazawa members including him completed the grand slam.</p>	145

<p><b>President Masahiro Fujiya always acts for other people's benefit, not for his own benefit.</b></p> <p>As a management executive, President Masahiro Fujiya introduces human resources development program for local contribution.  His employees are acting not only for their corporation's benefit but also for the local community.  President Masahiro Fujiya contributes not only to JCI but also to government or NPO.  Ishikawa Environmental Conservation Association / Executive board member  Ishikawa Educational Development Association / Executive board member  Ishikawa Committee for Promotion of Sports for the Disabled / Executive board member  Kanazawa Youth Development Council / Executive board member</p>	104
--	-----

President Masahiro Fujiya always puts it into practice that 'service to humanity is the best work of life.'

His action changed the awareness of his family and his employees.

There were more active citizens closest to him.

His family and his employees are involved in local contribution activities with him.

President Masahiro Fujiya has made the speech at many gatherings other than JCI and expresses the greatness of taking action for other people.

73

President Masahiro Fujiya thinks it important that Local Organization members understand JCI movement and take action.

President Masahiro Fujiya believes that improving Local Organization Members' quality leads to local contribution.

President Masahiro Fujiya himself participated in all of the JCI projects together with many Local Organization Members.

President Masahiro Fujiya provided Local Organization Members opportunities to be involved in JCI projects.

Local Organization Members understood JCI movement and created positive change.

Those members who created positive change conducted projects for the local community.

78

President Masahiro Fujiya put it into practice that 'earth's great treasure lies in human personality.'

President Masahiro Fujiya believes that people grow further by meeting other people.

President Masahiro Fujiya met many people and passed on JCI movement.

Local Organization Members also passed on JCI movement influenced by his action.

JCI Kanazawa brought in 43 new members by building the recognition of JCI and JCI Kanazawa.

65